

一般会計予算審査特別委員会から分担された部分を審査するため、3月9日に産業建設分科会を開催しました。

議案第18号 令和2年度総社市一般会計予算

～結果～

次のような審査の結果、本分科会に分担された部分については、全員一致で**原案を可決**すべきであると取りまとめることに決定。

～質疑～

問：仮設住宅について、西と昭和2箇所あるがいつまで使用できるのか。

答：西仮設住宅は9月、昭和仮設住宅は10月までとなっている。西仮設住宅は今後解体予定である。昭和仮設住宅については、今後復興住宅へ順次改修していく予定であり、来年度内に全棟改修できればと考えている。

問：仮設住宅を復興住宅に改修することのだが、仮設住宅に入居している人もいる中で、どのように進めていくのか。

答：まず空き部屋を復興住宅に改修し、入居者に移っていただき、順次空いたところから改修していくこととしている。

問：住宅災害復旧等資金利子補給金の申し込み状況はどうか

答：今年度の申し込み状況は21件となっている。仮設住宅の供与期間の延長に伴い、県が申請期間の延長を検討しており、延長となればいくらか増えていくのではないかと考えている。

問：斎場は建設から30年以上経過していて老朽化が進んでいるが、あと何年ぐらい使用する予定か。

答：斎場は昭和61年に竣工して33年経過しており、かなり老朽化している。躯体は50年耐用年数があると聞いており、計画的に修繕を実施し、あと15年から17年程度は使用できると考えている。

問：東京23区Jターン就職支援事業補助金の実績と効果はどうか。

答：今年度の実績はない。県の登録サイトに企業側が求人情報を載せるという条件がある。県の登録サイトの立ち上げが9月末にずれ込んだことも要因だが、登録サイトへ登録している企業が少ないので増やしていきながらPRをしていきたい。

問：高校生の地元就職を推進するため、岡山県地域課題解決プロジェクトとして、高校生を対象とする企業説明会を高校へ出向いて実施するとあるが、実施する高校は決まっているのか。

答：3校を予定しているがどこの高校で実施するかは未定である。市内の企業の要望を聞き募集しようと考えている。

問：ため池の安全対策工事やハザードマップの作成について、実施するため池は決まっているのか。

答：すべて確定しているわけではない。今後地元と協議して決定したい。

問：観光パンフレットの印刷代既存のものの印刷代か。それとも新たに作成するのか。

答：現在21種類の観光パンフレットがある。令和2年度の予算では外国人向けのパンフレットを新たに作成しようと考えている。また、新しい観光パンフレットの作成も予定している。

問：旧堀邸の光熱水費は利用者が負担しているのか。

答：光熱水費の全額ではない。現在は月額6千円、来年度からは月額7千円の負担とする予定である。

問：総社観光プロジェクト実行委員会負担金が前年度と比べて120万円増えているが、要因は何か。

答：総社観光大学が来年度10回目となるため、記念事業として観光大学の記念出版を予定している。

問：市が除草等を実施するのはどういった路線なのか。

答：市が除草等を実施するのは環境維持ではなく、安全維持の観点で実施しており、幹線道路の路肩を実施している。

問：道路舗装補修工事について、必要箇所を把握して計画的に修繕していくとのことだが、どのような基準で実施するのか。

答：地元からの要望が上がっている中で、現地査定を行い、ランク分けをして緊急性の高いところから実施していく。